

国際生活機能分類（ICF）について

(ICF: International Classification of Functioning, Disability and Health)

- 国際生活機能分類（ICF）とは
 - ・ 1980年に世界保健機関（WHO）から発表された「国際障害分類（ICIDH）」の改定版。
 - ・ 人間の生活機能と障害に関して、アルファベットと数字を組み合わせた方式で分類するもの。
 - ・ 文字の後に、数字コードが続く。
 - ・ 文字は、「b：心身機能」、「s：身体構造」、「d：活動と参加」、「e：環境因子」となっている。
 - ・ 数字は、5桁。左から「1桁：章番号」、「2～3桁：第2レベル」、「4桁：第3レベル」、「5桁：第4レベル」となっている。

《例》

第2章	感覚機能	sensory functions
b210	視覚機能	seeing functions
b2100	視力に関する機能	visual acuity functions
b21000	遠景に対する両眼視力	binocular acuity of distant vision
b21001	遠景に対する単眼視力	monocular acuity of distant vision
b21002	近景に対する両眼視力	binocular acuity of near vision
b21003	近景に対する単眼視力	monocular acuity of near vision

- ・ 付加的情報（評価点等）を提供するために、小数点の後に付加的数字（例えば、「0：問題なし」、「4：完全な問題」）を加える。

《例》

視力に関する機能の完全な障害：b210.4

- 目的と意義
 - ・ 健康状態に関連する生活機能状態を理解し、研究するための科学的基盤を提供すること。
 - ・ 障害分野における「共通言語」を確立し、障害者に対してサービスを提供する保健・医療・福祉・教育等の幅広い分野の従事者、患者やその家族等が共通理解の上に立って、より密な連携体制を構築すること。
 - ・ 障害分野の諸問題に関して、調査・分析や統計資料を作成する際に、国家や、サービスの専門分野、時間の枠組みを超えてデータを比較検討できる手段を提供すること。
 - ・ 障害分野の情報を電算処理する際に、体系的に符号化した分類リス

トを提供すること。

○ 主な改訂点

- ・ 改訂前の分類では、障害を「機能・形態障害」、「能力障害」、「社会的不利」の3レベルに分けていた。
- ・ 今回の改訂では、3つの次元で把握しようとする点は同じであるが、障害による負の側面を捉えていた点を変更し、前向き或いは中立的な表現を用いた。

(1) 「機能・形態障害 (impairment)」 → 「身体機能・構造 (body function & structure)」

(2) 「能力障害 (disability)」 → 「活動 (activity)」

(3) 「社会的不利 (handicap)」 → 「参加 (participation)」

また、分類の名称も、「International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps」から、「International Classification of Functioning, Disability and Health」と変更された。

(1) 「障害 (impairment)」 → 「機能 (functioning)」

(2) 「社会的不利 (handicap)」 → 「健康 (health)」

- ・ また、障害のモデルの基本的考え方として、改訂前には各次元間の関係を一次元的で一方向の流れとして示していたのに対して、改訂後は、各次元や要素が相互に関連していることを示すため、二次元的で双方向に結ばれているモデルが示された。

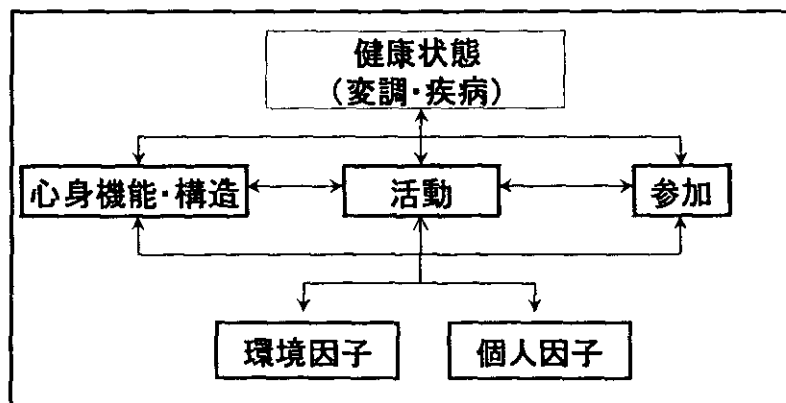
- ・ さらに、障害の発生には、個人のもつ特徴だけでなく環境の影響が大きいことの認識に立って「環境因子 (Environmental Factor)」の分類が加えられた。

《参考》

(1) 改訂前のモデル

疾病 → 機能・形態障害 → 能力障害 → 社会的不利

(2) 改訂後のモデル



国際生活機能分類（ICF）日本語訳作成のための手順（案）

平成13年6月

- 障害保健福祉部長の委嘱する検討会の開催（第1回）
 - ・ 分野ごと日本語訳を検討する作業班の設置
- 作業班による分野ごとの検討（7月～11月）

平成13年12月

- 障害保健福祉部長の委嘱する検討会の開催（第2回）
 - ・ 国際生活機能分類（ICF）仮訳（案）の検討
- ↓
- 調 整（検討会の議論等を踏まえ修正）
- ↓
- 仮訳の完成

平成14年1月

- 仮訳を社会保障審議会障害者部会に報告
- 仮訳を関係省庁、関係団体等に送付

平成14年2月～3月

- 幅広く関係者等から意見聴取

平成14年3月

- 国際生活機能分類（ICF）日本語訳完成
- 厚生労働省ホームページに掲載